

「輝け11 しまね町村フェスティバル」(第9回)について

令和2年5月13日

実行委員会事務局

1 企画概要

- (1) 趣旨 県内11町村の伝統文化・芸能、また豊かな海の幸、山の幸を紹介することにより、これまで培ってきた島根の原風景「まち・むら」の魅力・輝きを情報発信
- (2) 主催 島根県町村会及び島根県町村議会議長会並びにTSK(実行委員会)
 - *共催 島根県 *後援 山陰中央新報社
 - *協力 島根経済同友会・島根県環境保健公社・
(一財)ごうぎん財団・(株)千里
 - *特別参加 日本赤十字社島根県支部・島根県共同募金会・
(公社)島根県緑化推進委員会・水土里ネット島根・
(公財)しまね自然と環境財団・(公財)しまね国際センター・
島根県国民健康保険団体連合会・しまね海洋館アクアス・
(公財)島根県市町村振興協会
- (3) 日時 令和元年10月5日(土)、6日(日)
- (4) 会場 松江市向島町 TSK山陰中央テレビ特設会場
- (5) 主な事業内容
 - ・地域の伝統文化、芸能等の紹介
 - ・地域の特産品の紹介、実演、販売促進
 - ・観光、定住促進に向けた情報発信
 - ・各種体験(カヌー、神楽衣装、そろばんストラップづくり)

2 開催概要

- (1) 来場者数 3万1千人 ※過去最高
 - ・松江市向島町の会場に戻り4年目の開催。来場者数は、過去最高となった一昨年の3万人を上回るものとなった。
 - ・1日目の5日(土)は、懸念された台風も過ぎ去り、朝から快晴に恵まれ、来場者が途切れることなく続き、各ブース、ステージともに賑わいを見せた。今年度の新企画である体験コーナーは、そろばんストラップづくり体験、神楽衣装体験ともに非常に好評であり、行列が絶えることなく盛況を博した。また、カヌー体験も、小さな子供から年配の方まで、幅広い年齢層の方にご参加いただけた。来場者数は14,000人。
 - ・2日目の6日(日)は、朝からあいにくの雨となったものの、先着プレゼントの行列には、プレゼント数を上回る方々が行列を作るなど好調な滑り出しとなった。

また、ステージについても、雨天にもかかわらず多くの方々が傘を片手に熱心に観覧されていた。

10時頃には、雨も上がり、来場者はさらに増え、前日を上回る盛況ぶりとなった。体験コーナーも引き続き好調であった。来場者数は17,000人。

(2) ステージ関係

- ・メインステージでは、県内各地域の神楽や、本場隠岐の民謡、力強い太鼓、伝統的な踊り、会場全体を利用した踊りなど、様々な伝統文化などが披露された。
特に、神楽関係の演目は、立ち見も含めて多くの観覧者で賑わうなど、伝統文化等への関心の高さがうかがえた。
- ・「ゆるキャラ大集合」では、しまねっこをはじめとして県内町村のゆるキャラ達が出演し、記念撮影も含めて多くの子供連れで賑わった。
- ・宿泊券などが当たる「町村へ行こう！抽選会」や、町村の物販ブースで利用でき「500円チケットくじ引き」を今年度も長蛇の列ができるなど好評であった。
- ・その他、「しまねオーシャンズ11PR」「植樹祭PR」なども行った。

(3) 物産ブース関係

- ・県内各地域の海の幸、山の幸の出展があり、特に、試食、実演を行うブースが増加傾向にある。
- ・ここ近年の来場者数の伸びを背景に、提供数量を増やすブースも見受けられた。
- ・初日は、全体的には売上が好調であったものの、南側（大橋川側）のブースの売上が不調であった。
また、天気良すぎたため気温が高く、汁物や丼ものなどの売上が伸び悩んだ。
- ・2日目は、先着プレゼントの行列位置や休憩スペース（テーブル等）の配置の変更、メガホンの活用などにより、南側（大橋川側）を含む多くのブースで売上が大きく伸びた。
この日は、気温も高すぎず、昨日、不調だった汁物や丼ものも好調な売れ行きとなった。
- ・物産関係の売り上げは、来場者の多寡に大きく影響されるが、今年度は過去最高の人出になったこともあり、多くのブースで好調な売り上げとなった。